

平成 29 年 2 月 3 日

伊勢市長 鈴木 健一 様

伊勢市まち・ひと・しごと創生会議
会長 齋藤 平

伊勢市まち・ひと・しごと総合戦略にかかる進行管理について（答申）

平成 29 年 1 月 31 日付け 28 企第 1225 号で諮問のありました伊勢市まち・ひと・しごと総合戦略の進行管理については、下記のとおり答申します。

記

1 総合戦略の進行管理について

(1) 全般

- 他の市町との差別化が、その都市の魅力となることから、選択と集中を進め、伊勢独自の新しい取組や特徴ある取組に努めてください。
- 伊勢の強みを生かした取組を進め、市内外への情報発信に努めてください。
- 地方創生の取組は、行政だけでは限界があります。総合戦略策定以降も各種団体とも情報共有、連携を図りながら事業展開を進めてください。また、その際には高齢者や学生の積極的活用を提案します。

(2) 個別事項

- 教育環境の優位性は、少子化対策、移住定住対策として有効と考えます。サービス水準の向上、独自施策の実施など教育施策の充実を提案します。
- ふるさと納税は、単なる納税の側面だけでなく、産業振興など地方創生に繋げることができるツールであることから、各部門で連携して取組を進めてください。
- ワーク・ライフ・バランスの実現においては、依然として性的格差が大きく、古い意識が根強いことが阻害要因となっていることから、企業等への男女共同参画に係る啓発を今後も進めてください。

(3) 進行管理の進め方

- 個別施策の評価も大切ですが、地方創生の目的に立ち返ると、伊勢市の人口状況がどう変化しているのかを把握しておくことが重要です。その上で各取組の効果を検証することが良いと考えます。次回の進行管理の際は、人口の動向についての資料の提供を希望します。